

「神奈川県の見塚からみた生業活動」

樋泉岳二(早稲田大学)

はじめに

I. 環境変動と縄文見塚

II. 神奈川県の見塚からみた生業活動

(1) 縄文早期－縄文最古の海洋漁労民

早期前半: 夏島見塚・平坂見塚(横須賀市)

早期後半: 吉井見塚(横須賀市)など

(2) 縄文前期－東京湾岸の見塚群と相模湾の外洋漁労民

東京湾岸: 白幡浦島丘遺跡・北川見塚(横浜市)など

相模湾岸: 羽根尾見塚(小田原市)・万田貝殻塚見塚(平塚市)

(3) 縄文中期

東京湾岸: 元町見塚(横浜市)

三浦半島: 伝福寺裏遺跡(横須賀市)－外洋漁労の前線基地

(4) 縄文後期

東京湾岸: 称名寺見塚(横浜市)－海獣狩猟民のムラ

稲荷山見塚・三ツ沢見塚・杉田見塚(横浜市)－大規模見塚の発達

相模湾岸: 堤見塚(茅ヶ崎市)・遠藤見塚(藤沢市)

(5) 縄文晩期－見塚の衰退と狩猟の発達

桜山うつき野遺跡(逗子市)

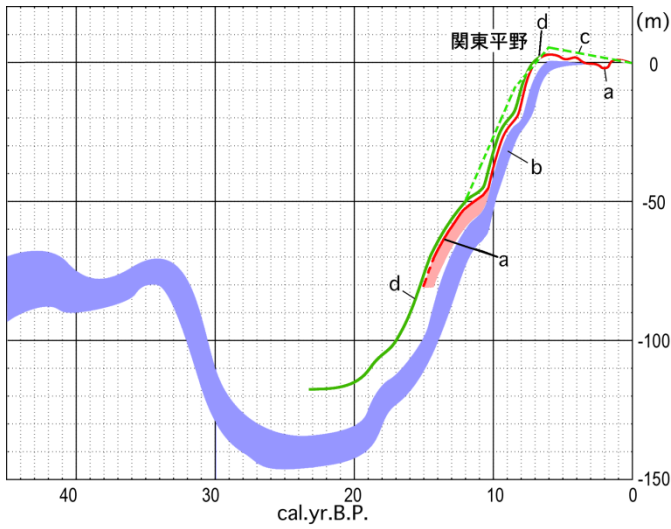
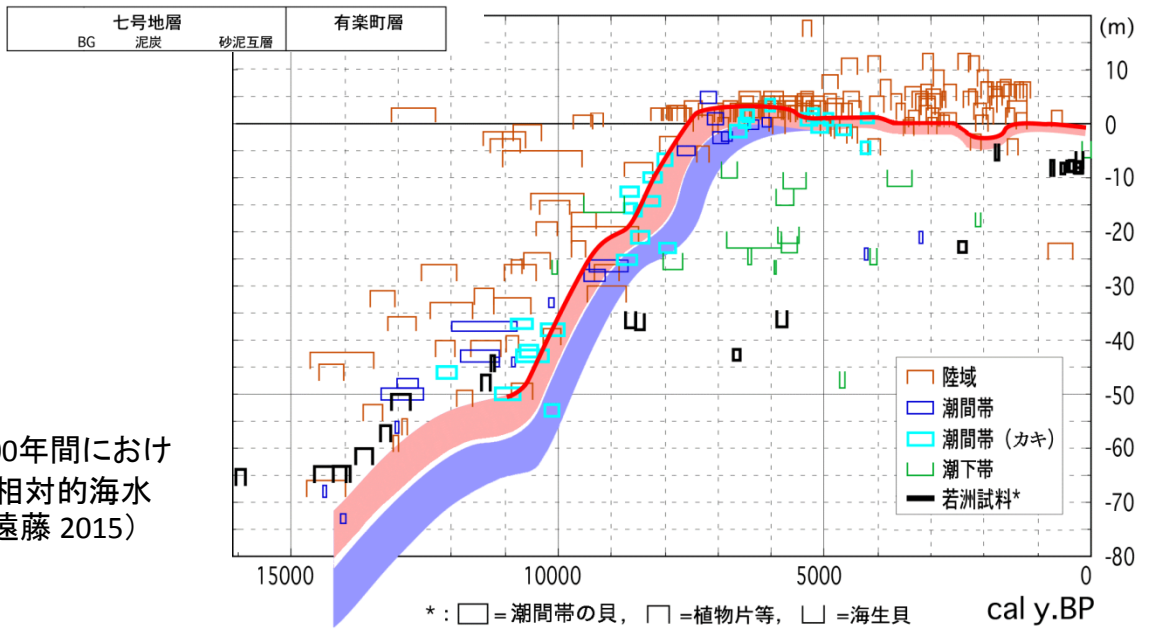


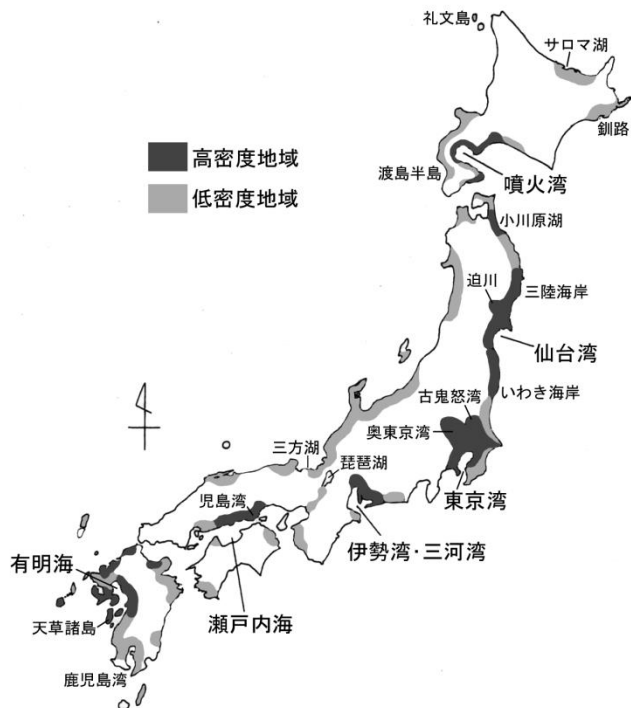
図1. グローバルな海水準変動(b)と関東地方の相対的海水準変動(d). (遠藤 2015)

図2. 過去15000年間における関東地方の相対的海水準変動曲線 (遠藤 2015)



* : □ = 潮間帯の貝, □ = 植物片等, □ = 海生貝

図3. 日本列島における縄文貝塚の分布状況 (樋泉 2014)



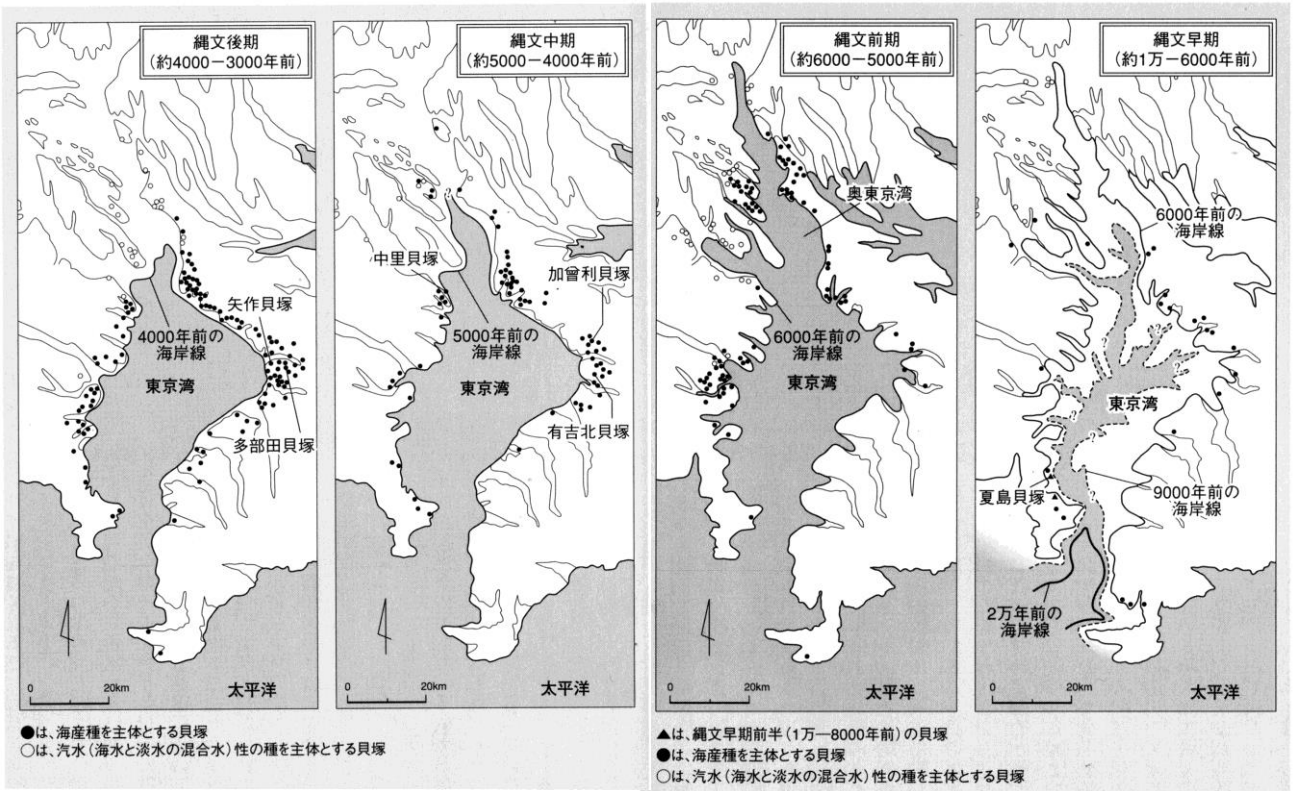


図4. 東京湾と沿岸貝塚の変遷(樋泉 2001).



図5. 神奈川県内の遺跡分布と海域区分(展示図録に加筆).

表1

東京湾口部の縄文早期貝塚から出土した主な動物遺体(暫定)

夏島:杉原・芹沢1957, 金子1960, 金子・丹羽1982, 岡本1989(第1貝層下層), 平坂:剣持・野内1983, 岡本1953, 沖ノ島:国分2004・2006, 茅山・吉井:金子・丹羽1982.

●多量, +少量・微量, 数値はNISP, <>はNMI. 平坂の(w)は水洗選別資料(貝層サンプル8300cc), 他はピックアップ資料.

種類と生息環境			縄文早期前半					縄文早期後半			
			夏島		平坂		沖ノ島	夏島		茅山	吉井城山
			第1貝層下層	第1貝層	東貝塚	西貝塚		第1混土～ 第2貝層	第3貝層		
			(井草・大丸)	(夏島)	(夏島)	(平坂)	(大浦山・平坂)	(田戸)	(鶴ヶ島台～茅山)	(茅山下層)	(茅山上層)
貝類	汽水	ヤマトシジミ	●?	+		+		+		+	
	内湾 泥質干潟	マガキ	+	●	●	●		+	+	●	●
		ハイガイ		●	+	+		+	+		+
		オキシジミ		+	+	+		+			+
		オオノガイ		+		+		+			
	内湾 砂質干潟	ウミミナ		+	+	+					
		ツメタガイ		+		+		+			
		アカニシ		+		+		+	+	+	+
		カガミガイ		+		+		+	+		
		ハマグリ				+		+		+	+
	湾口	アサリ	データなし		+	+		+		+	
		オニアサリ						+			
		ミルクイ						+			
	外洋砂底	ウチムラサキ						+	+		
		テングニシ						+	+		
	岩礁	カリガネエガイ				+		+		+	+
サザエ						+					
スガイ			+		+		+	+			
レイシ			+		+		+		+	+	
魚類	外洋 回遊性	マグロ	データなし	15	1	+		1		13	6
		カツオ		24	2					1	
		ソウダガツオ		1						1	
		ブリ		1				1		3	183
		アジ類					+				
		サバ		1	117 (w)						
		マイワシ			216 (w)	●?					
		サメ類						33	2	1	27
	外洋沿岸 岩礁	マダイ	データなし	1			+	16 <8>	4 <3>	59	1333
		コショウダイ類		2 <2>							
		ハタ								1	11
	内湾	メバル類		7 <2>							1
		ボラ		10 <2>				4 <2>	3 <1>	12	514
		クロダイ		29 <23>	3 (w)	+	<5?>	7 <3>	5 <5>	11	376
		スズキ		16 <6>		+	+	6 <4>		10	103
		コチ		38 <16>				1			1
ハモ			26 <7>				15 <5>			1	
エイ類			3 <2>			+			1	15	
	鳥類	キジ類	データなし	12 <3>				2 <2>			
		カモ類		2 <2>	不明骨片1		+				
アビ類			27 <11>				1	2 <2>			
海獣	イルカ類	データなし	+	1	+	400+ <10>	+				
	アシカ類									22 <4>	
陸獣	イノシシ	データなし	● <7>		+	<3?>	38 <6>	15 <3>	47	● <60>	
	シカ		4 <1>		+	+	43 <6>	9 <2>	21	● <21>	
	タヌキ		36 <3>				1	1		30 <14>	
	ノウサギ		26 <5>		+		1	3 <1>		2 <1>	
	ムササビ		3 <2>				1				
	イヌ		+		+	+	+			5 <4>	

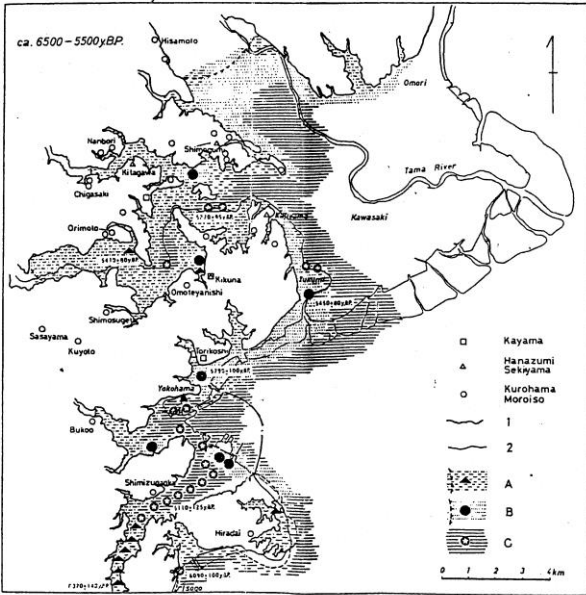


図8 約6500~5500年前の東京湾西岸横浜付近の古地理と貝塚の分布(松島・小池原図)
 Kayama: 早期茅山式, Hanazumi・Sekiyama: 前期花積下層・関山式, Kurohama-Moroiso: 前期黒浜・諸磯式, 1: 約6500~5500年前の海岸線, 2: 1895年頃の海岸線, A: A群集とA群集の生息域; 海成層の分布範囲, B: B群集とB群集の生息域; 海成層の分布範囲, C: C群集とC群集の生息域。

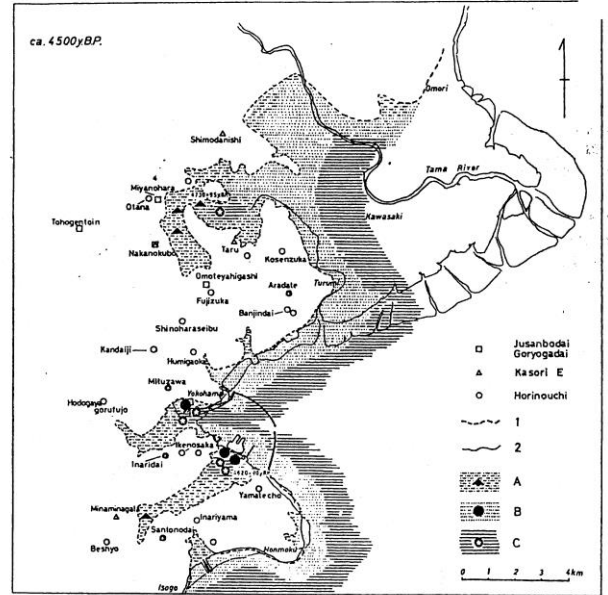


図9 約4500年前の東京湾西岸横浜付近の古地理と貝塚の分布(松島・小池原図)
 Jusanboda・Goryogadai: 前期末十三管提・中期初頭五領ケ台式, Kasori E: 中期加曾利E式, Horinouchi: 後期掘之内式, 1: 約4,500年前の海岸線, 2: 1895年頃の海岸線, A: A群集とA群集の生息域, B: B群集とB群集の生息域, C: C群集とC群集の生息域。

図6. 多摩川河口域~横浜付近の古地理と貝塚の分布(松島1979).

左: 縄文時代前期(約6000年前), 右: 縄文中期後半(約4500年前)

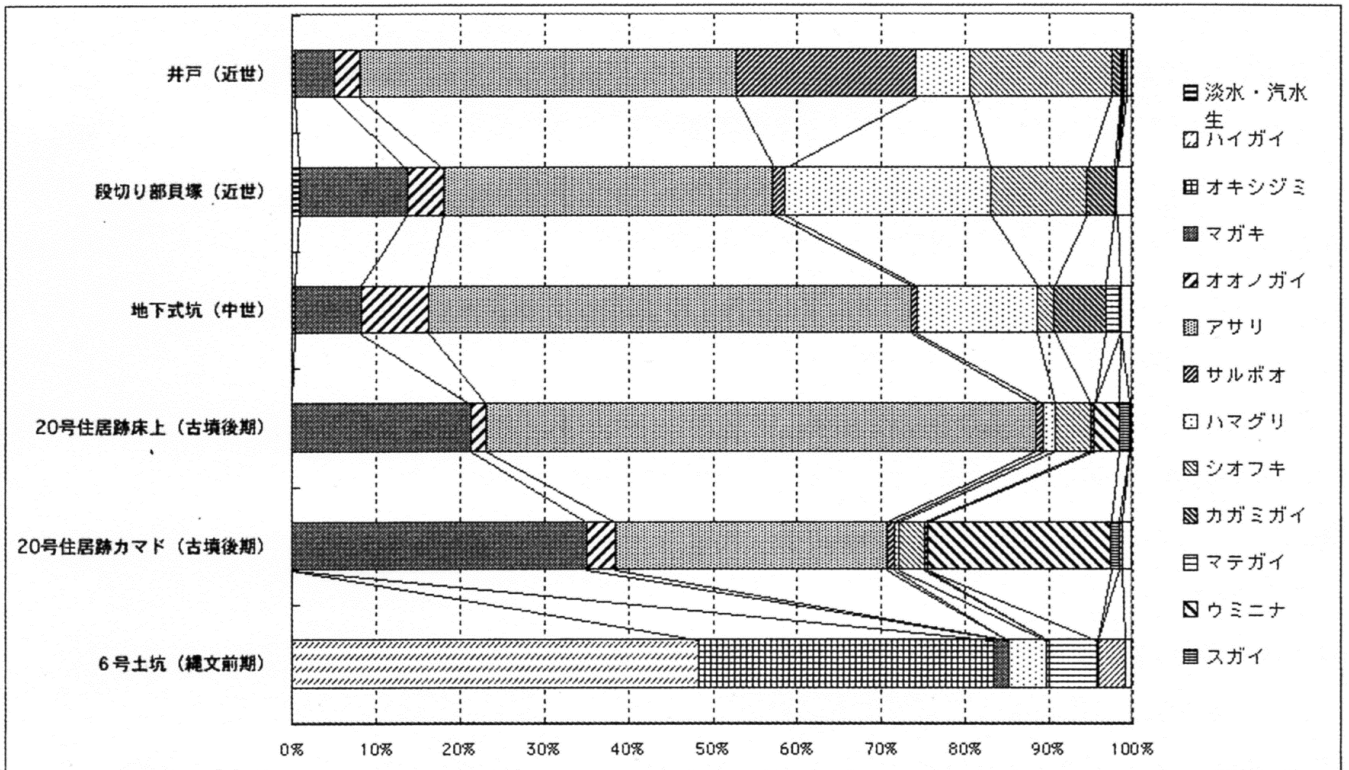


図7. 横浜市白幡浦島丘遺跡における貝類の変遷(樋泉2003).

表2

東京湾東岸・湾口部～湾外の縄文前期貝塚から出土した主な貝類・魚類・海獣類遺体(暫定)

●多い, △やや多い, +少ない. 数値はNISP. 茅山・吉井城山は参考として早期後葉(茅山下層式期)のデータも示した.

種類と生息環境			神門		平台 (諸磯)	茅山		吉井城山第1		万田 (黒浜)	羽根尾 (関山～黒浜)	
			上部貝層 下部 (花積下層)	上部貝層 上部 (黒浜)		斜面貝層 (茅山下層)	竪穴住居 (関山)	下部貝層 (茅山上層)	上部貝層 (関山)			
			貝類	淡水		タニシ類						
	汽水	ヤマトシジミ					+	+		+	●	
貝類	内湾 泥質干潟	マガキ	●	●	+	●	+	●		+	+	
		ハイガイ	●	●	+		+	+		+	+	
		オキシジミ				●			+		+	
	内湾 砂質干潟	カガミガイ			●			+			+	
		ハマグリ	●	●	●	+	+	+	+		+	
		アサリ			+	+	●				+	+
	外洋砂底	ダンベイキサゴ						+			●	●
		チョウセンハマグリ						+			△	+
	外洋岩礁	スガイ			+			●	?	●?	+	
コシダカガンガラ類						+	●	?	●?	+	+	
魚類	淡水	コイ科								+	●フナ	
	内湾	ボラ	+	+	+	12	●29	△514	3	●	+	
		クロダイ	●	●	●?	11	●21	△376	△14	+	+	
		スズキ	+	+	●?	10		103	4	+	+	
		エイ類	+	+	+	1	△15	15	1	+	+	
	外洋沿岸 岩礁	イシナギ									+	●
		マダイ	△	△		●59	●24	●1333	●34	+	+	
		ハタ				1	6	11		+	+	
	外洋 回遊性	マグロ				13		6	5	+	+	
		カツオ			+	1				●	●	
		ブリ	+	+	+	3		183	4	+	+	
		サバ	+	+			5			△	●	
		ニシン科		+	●?		6			△	+	
		サメ類	+		+	1		27		△	+	
海獣	イルカ類					●?			66<1>		●	
	アシカ類							22<4>			+	

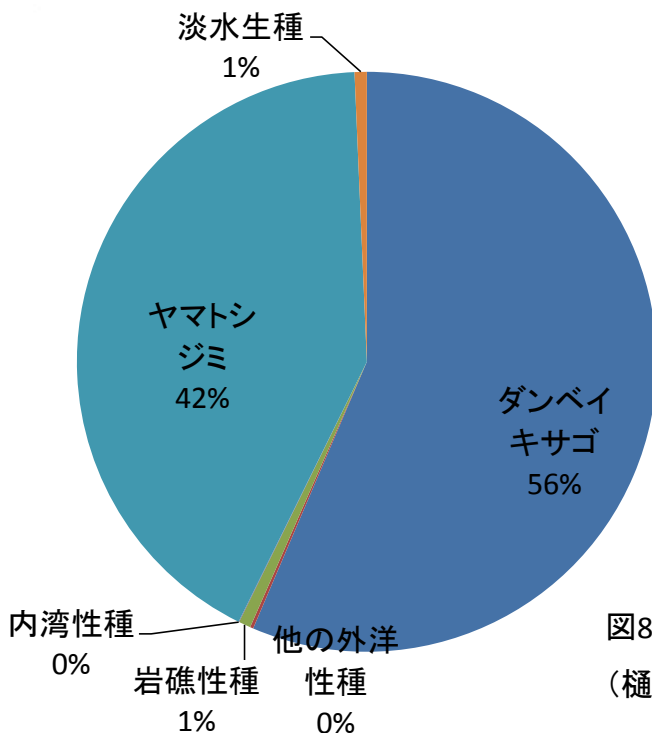


図8. 小田原市羽根尾貝塚の貝類組成 (樋泉ほか 2003)

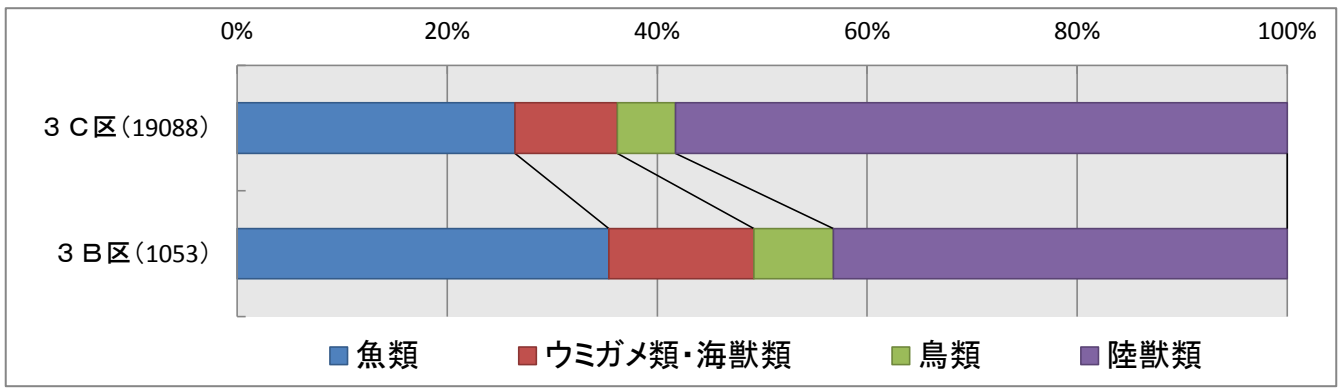


図9. 羽根尾貝塚における脊椎動物全体の組成 (樋泉ほか2003). NISP比

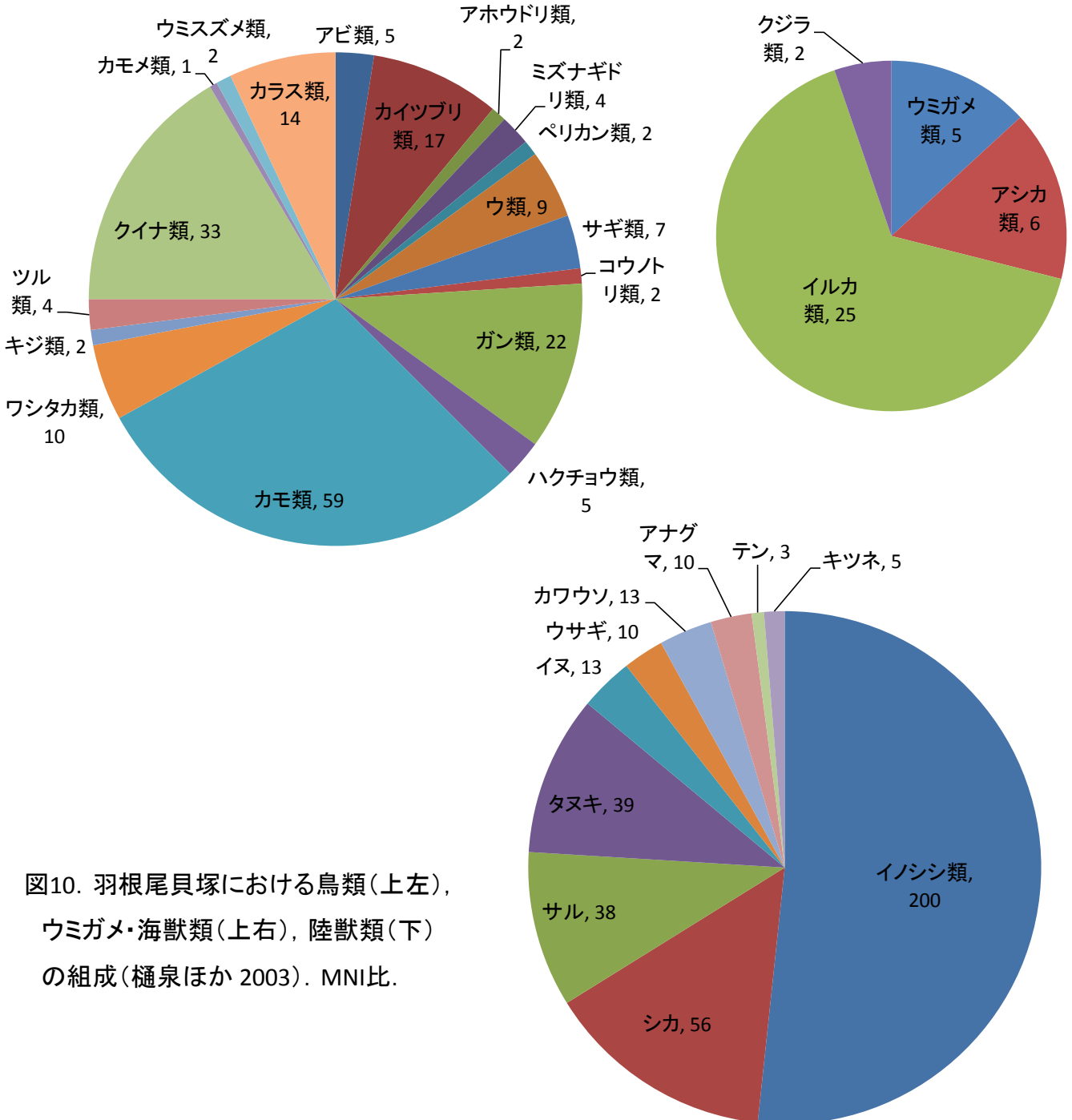


図10. 羽根尾貝塚における鳥類(上左), ウミガメ・海獣類(上右), 陸獣類(下)の組成 (樋泉ほか2003). MNI比.

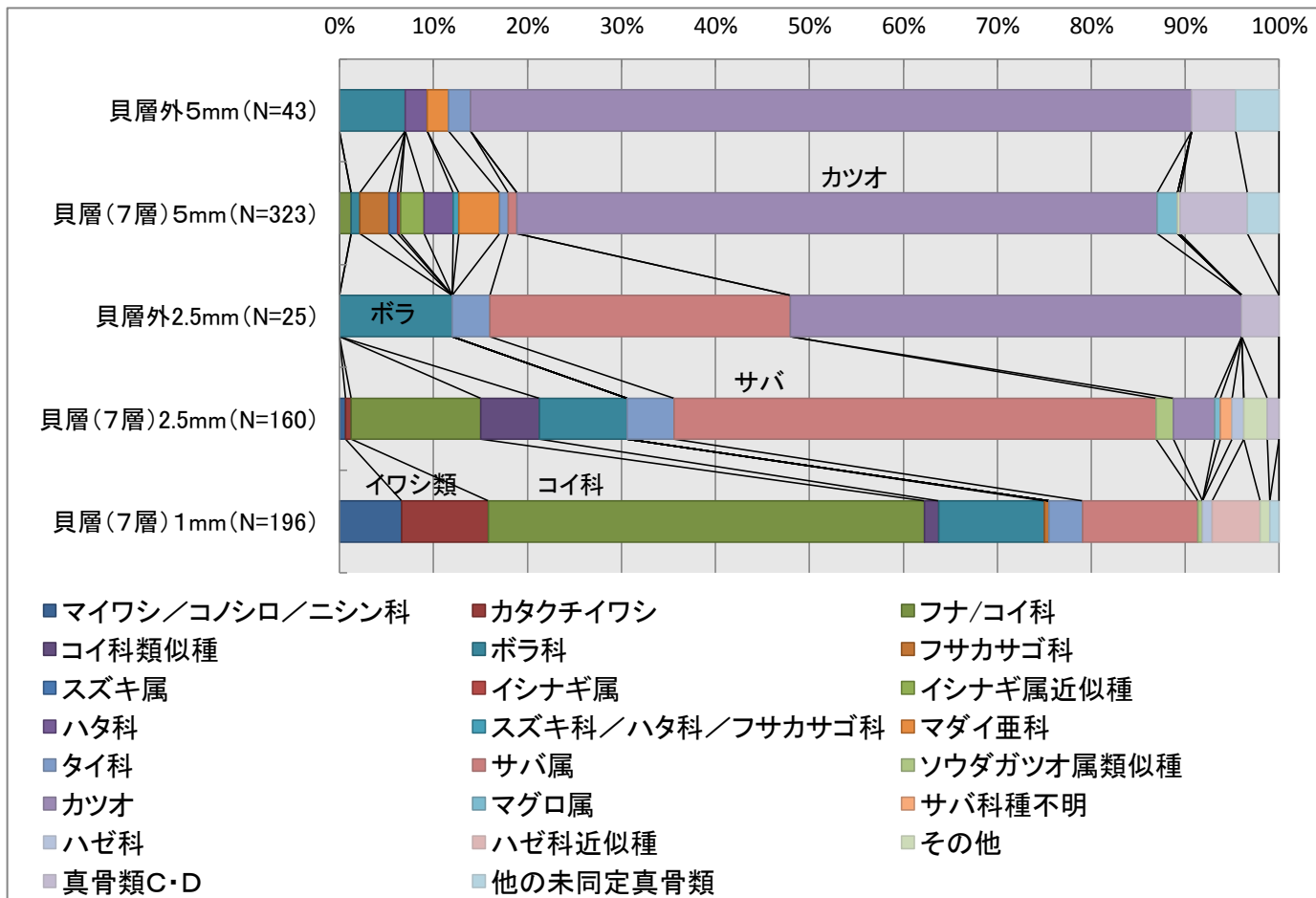
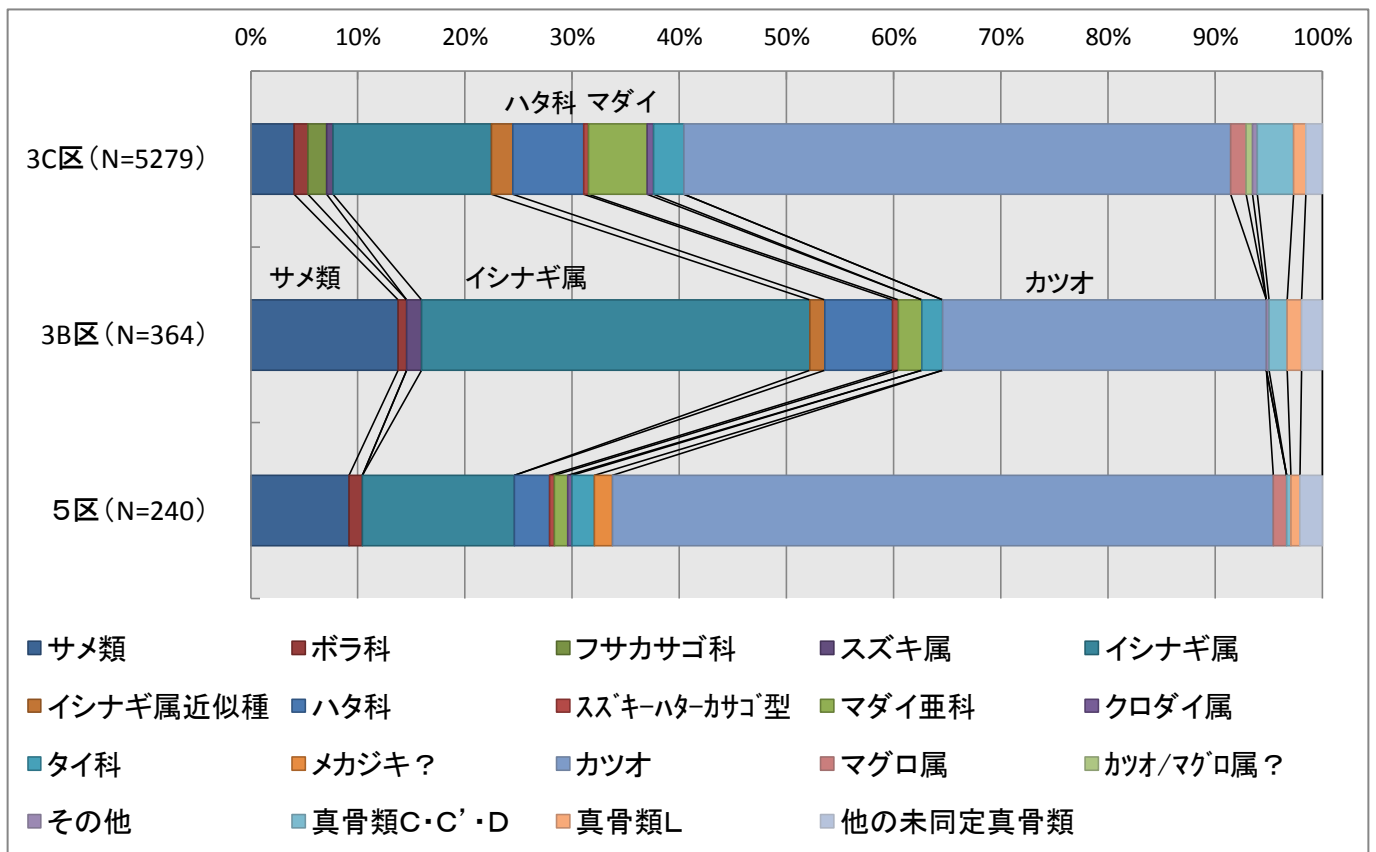


図11. 羽根尾貝塚における魚類組成(樋泉ほか 2003). NISP比.

上: 現地採集資料, 下: 水洗選別資料.

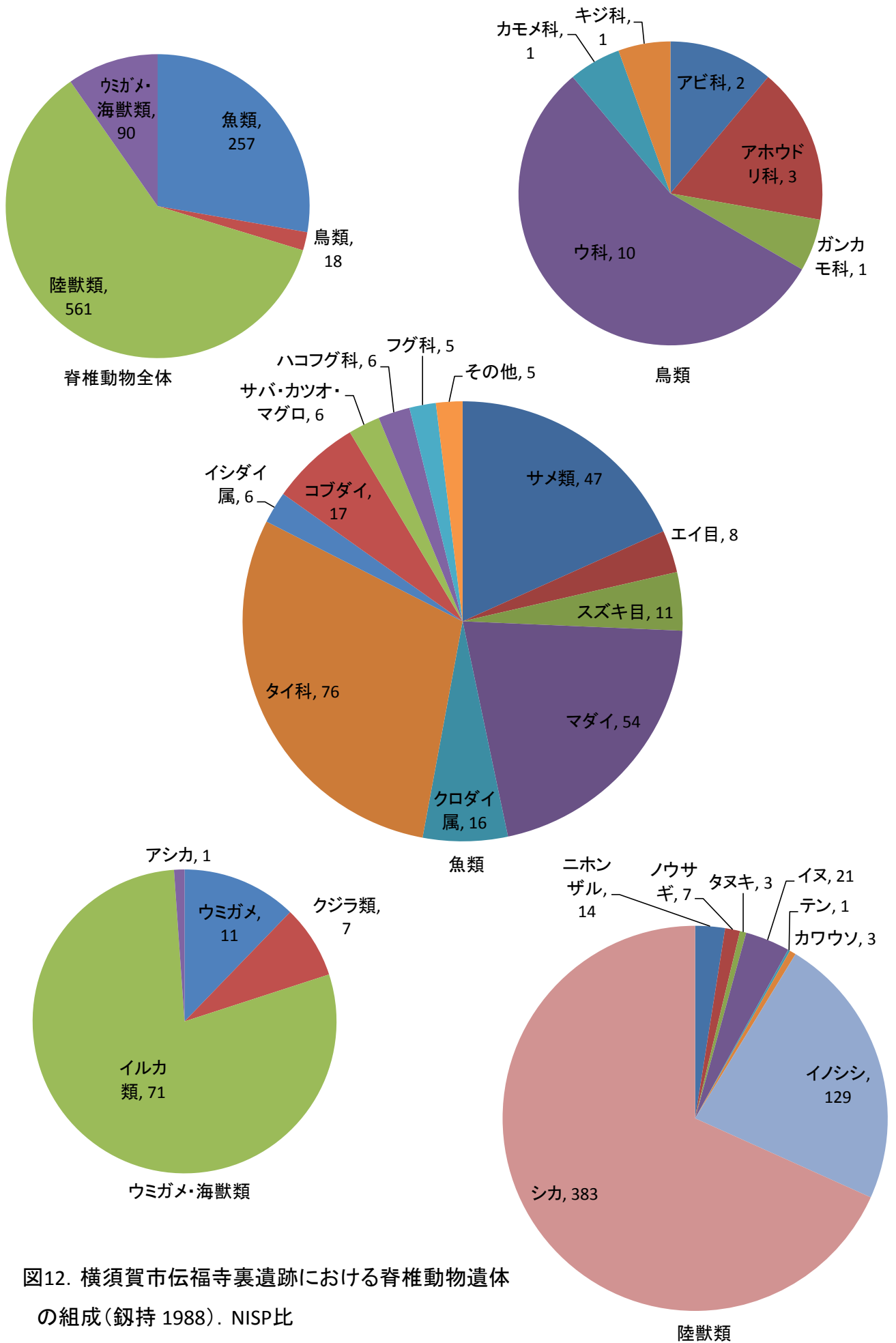


図12. 横須賀市伝福寺裏遺跡における脊椎動物遺体の組成(鈎持 1988). NISP比

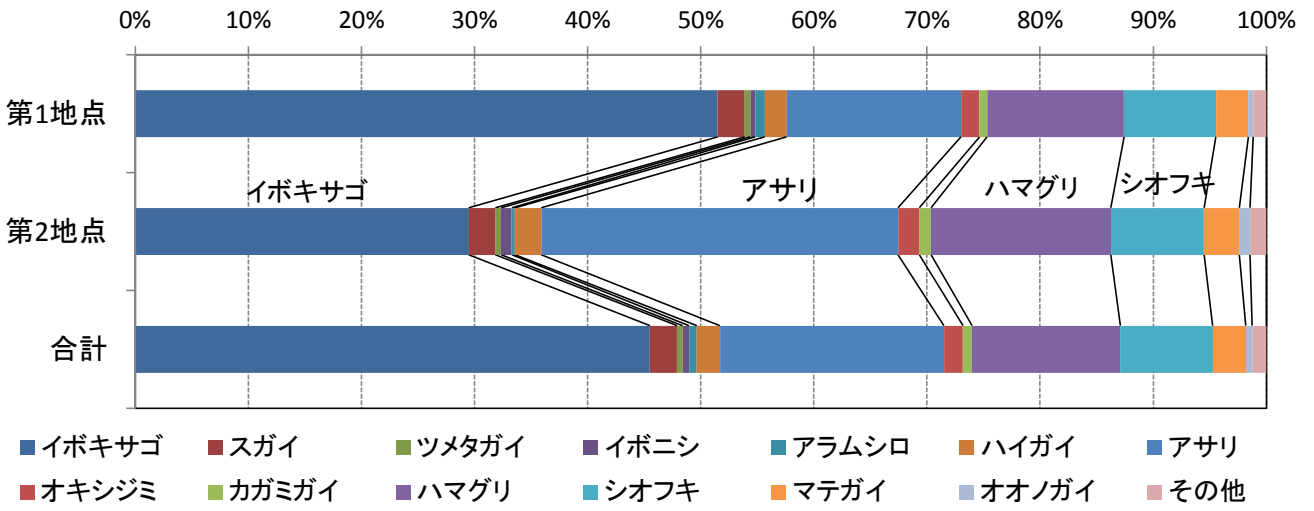


図13. 横浜市稲荷山貝塚における貝類組成(樋泉 2002).

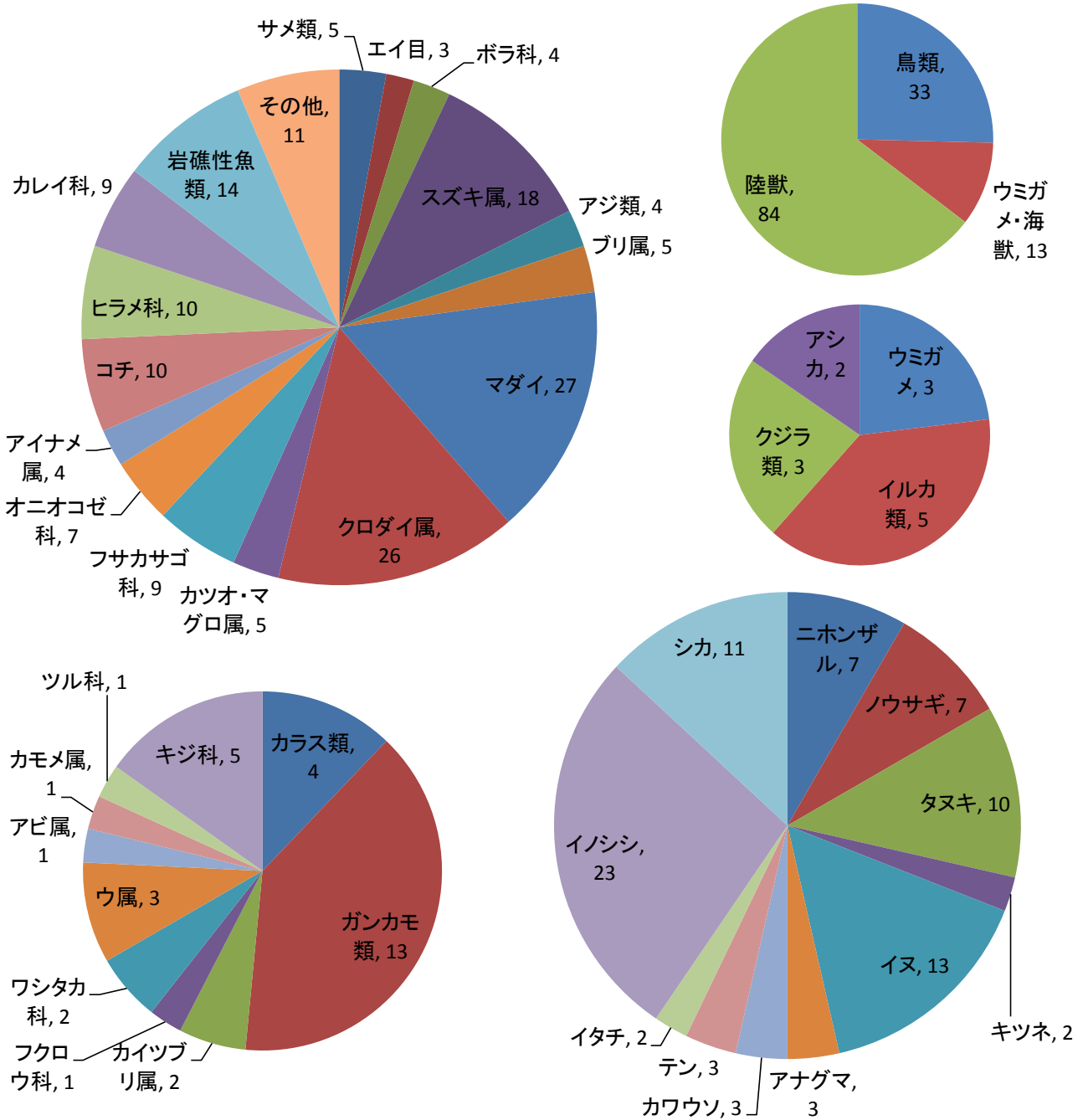


図14. 稲荷山貝塚における脊椎動物組成(樋泉 2002). MNI比.

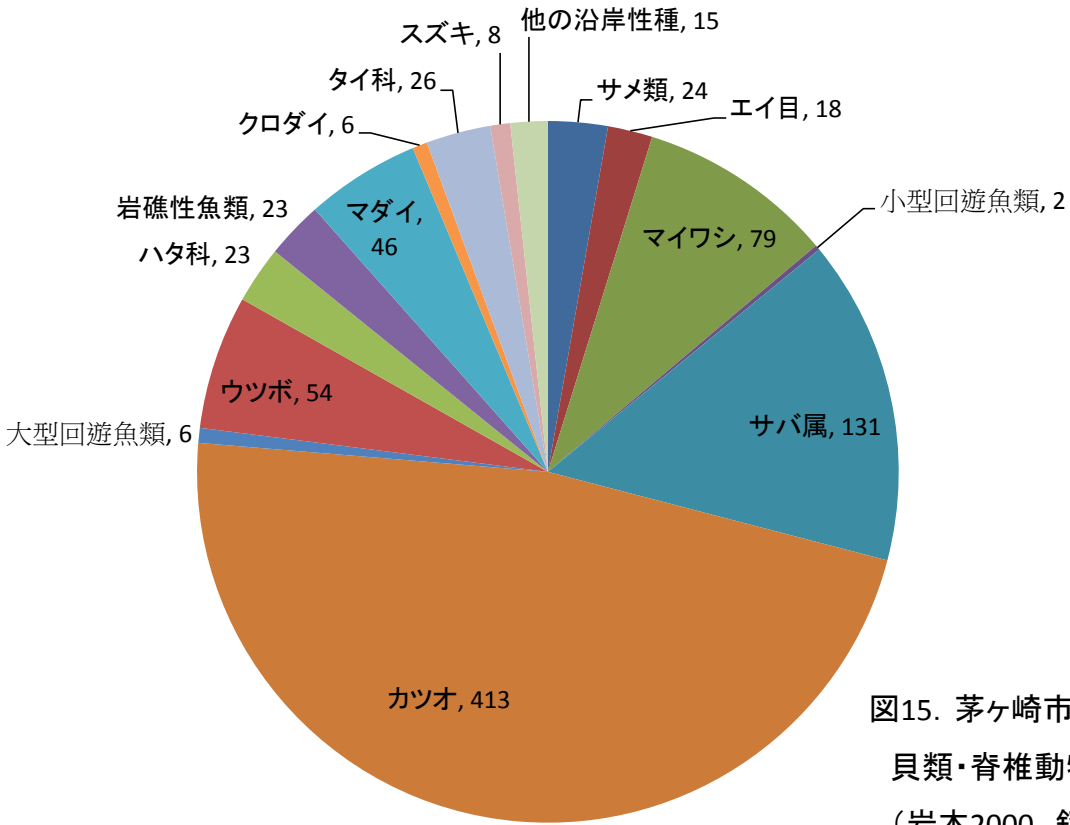
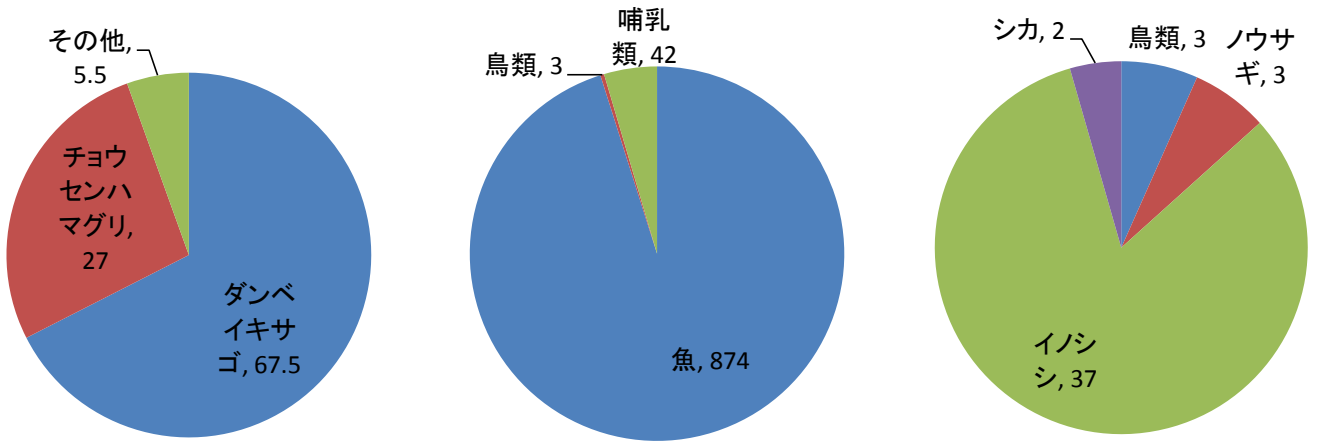


図15. 茅ヶ崎市堤貝塚における貝類・脊椎動物遺体の組成 (岩本2000, 鈿持 2000). 脊椎動物遺体はNISP比.

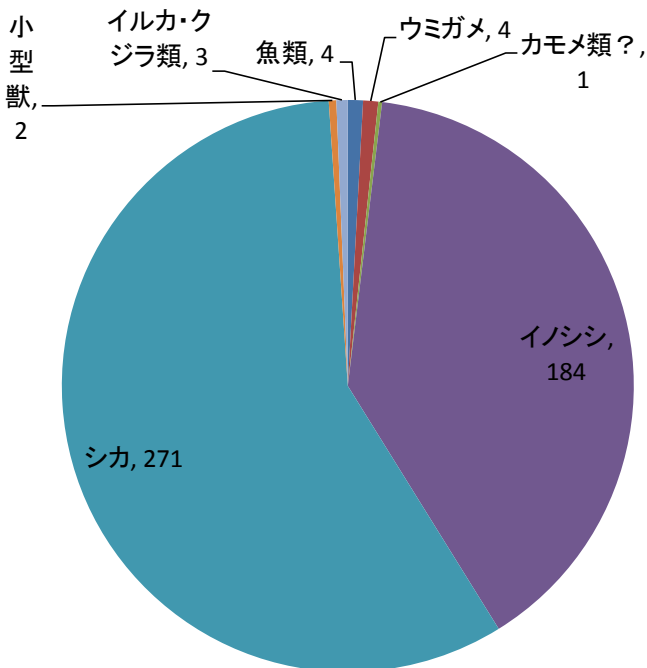


図16. 逗子市桜山うつき野遺跡における脊椎動物遺体の組成 (樋泉 2010). NISP比

図・データの出典

- 図1・図2 遠藤邦彦(2015)『日本の沖積層－未来と過去を結ぶ最新の地層－』富山房インターナショナル
- 図3 樋泉岳二(2014)「漁撈の対象」『講座日本の考古学4 縄文時代(下)』青木書店
- 図4 樋泉岳二(2001)「貝塚の時代－縄文の漁労文化」『NHKスペシャル日本人はるかな旅 第3巻森が育てた海の王国』日本放送出版協会
- 図6 松島義章(1979)「南関東における縄文海進に伴う貝類群集の変遷」第四紀研究17
- 図7 樋泉岳二(2003)「白幡浦島丘遺跡の動物遺体」『白幡浦島丘遺跡－県営浦島ヶ丘B団地改築事業に伴う調査報告』かながわ考古学財団
- 図8～図11 樋泉岳二・姉崎智子・江田真毅・鶴澤和宏(2003)「羽根尾貝塚の動物遺体群」『神奈川県小田原市羽根尾貝塚－羽根尾工業団地建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書I』玉川文化財研究所
- 図12 釧持輝久(1988)「伝福寺裏遺跡出土の脊椎動物について」『伝福寺裏遺跡』横須賀市教育委員会
- 図13・図14 樋泉岳二(2002)「稲荷山貝塚の動物遺体群」『稲荷山貝塚－根岸米軍(11)法面整備工事に伴う発掘調査－』かながわ考古学財団
- 図15 岩本和代(2000)「貝類」・釧持輝久(2000)「堤(西)貝塚出土の脊椎動物遺体」『神奈川県指定史跡 堤貝塚』茅ヶ崎市教育委員会
- 図16 樋泉岳二(2010)「桜山うつき野遺跡の動物遺体群」『桜山うつき野遺跡II(第2次調査)』かながわ考古学財団